

# 101-328

## 問題文

5歳女児。欠神発作(てんかん小発作)と診断され、保険薬局へ処方箋を持参した。処方量( A )mgと秤取量( B )gの組合せで最も適切なのはどれか。1つ選べ。なお、エトスクシミドの原薬量は成人量として1日450mgである。小児への投与量は下記の式で計算せよ。

$$\text{小児量} = \frac{\text{年齢} \times 4 + 20}{100} \times \text{成人量}$$

(処方)

エトスクシミド散50％ 1回  mg (1日 (A×2) mg) 【原薬量】  
1日2回 朝夕食後 7日分

実秤取量 (7日分) エトスクシミド散50％  g

- | • A    | B    |
|--------|------|
| 1. 90  | 1.3  |
| 2. 90  | 2.5  |
| 3. 180 | 2.5  |
| 4. 180 | 5.0  |
| 5. 360 | 5.0  |
| 6. 360 | 10.0 |

---

## 解答

2

## 解説

年齢が5歳なので、与えられた式を用いて、0.4×成人量が小児量です。

原薬量が、成人量なら450mgとあるので、原薬量が、小児量なら180mgです。これは1日量なので、1回量は、90mgです。7日分なので、180×7＝1260mgです。50％製剤なので、実際に量り取るのはこの2倍となります。つまり、2520mg≒2.5gです。

以上より、Aが90、Bが2.5です。  
正解は2です。